



藤本 みのる 通信

Vol 330

2019年11月19日発行



大月市議会議員



自宅 大月市猿橋町小篠 8 5 3

電話/FAX 0 5 5 4 - 5 6 - 7 2 7 2

大月駅南北自由通路の費用対効果は

前市長時には、南北自由通路と橋上駅舎化をセットとした事業について、平成 21 年 3 月に凍結し、平成 24 年 7 月に「市民サービスの優先順位を考える中で、J R 東日本と協議し、合意が得られたことから凍結した事業の執行を停止するための協定を新たに締結した」とされました。平成 27 年 3 月には「山梨県の職員と本市職員の勉強会を発足し、計画を中止した事業以外に南北地域の連絡と一体化をどう図るかについて検討してまいった」とされてきました。

橋上駅舎一体型南北自由通路	40 億円
半橋上駅舎型南北自由通路	35 億円
単独型南北自由通路	20 億円

「業務報告書 4-2」には、「駅周辺の人口」として、「人口が減少、65 歳以上人口の割合も 3 割以上。2040 年には、2015 年の半数程度まで人口が減少すると推計」と記述されています。県市職員勉強会が単独型を検討したとしても、費用対効果はどうでしょう。経済効果の検証、財政再建の課題など考えなくてはなりません。逆に、自由通路が無ければ、さつき通りに歩行者が誘導されず。その経済効果を検証すべきでは。

大月駅南北自由通路需要予測

(業務報告書 5-1~4)

- ① 現況の鉄道横断歩行者数
 - 西側跨線橋 273 人
 - 東側踏切 228 人
 - 一般横断者 (J R 非利用者) 半分
⇒250 人/日 (J R 利用者)
 - ② J R 大月駅乗降人員×北側人口比
⇒3575 人/日 (北側ひろば乗降)
 - ③ 北側地区開発による新たな利用者
⇒1720 人/日
- 内訳 (将来の歩行者通行量)
- | | |
|----------|------------|
| 居住誘導による者 | 950 人/12h |
| 市役所庁舎等 | 280 人/12h |
| ビジネスホテル | 100 人/12h |
| 合計 | 1330 人/12h |
- 昼夜率 1.29 を乗じ 1 日あたり
1720 人/日

まちづくり学習会

11 月 28 日 (木) 午後 2 時~4 時
大商協ホール (主催: 大商協)

【藤本みのる活動日誌】

- 11月14日(木) 秋の火災予防週間・6分団巡回
- 11月15日(金) 大月市戦没者慰霊会
- 11月18日(月) 東部広域連合議会11月定例会
- 11月19日(火) 議員定例懇談会